

発展

* 3 4

連立方程式 2・連立方程式の応用

3 割合の問題 (その3)

【No. 3 4 の後で学習☆発展問題】 (1 / 2)

合金の問題(比)

◇ 《合金の問題(比)》 **学力化** →

◇ 発展演習 ◇ 【 1 】

銅とすずの合金が A, B 2 種類ある。ふくまれている銅とすずの重さの割合は, A は 6 : 4, B は 9 : 1 である。合金 A, B をとかしあわせて, 銅とすずの割合が 7 : 3 の合金を 900 kg つくりたい。

A, B を, それぞれ何 kg とればよいか。

【考え方】

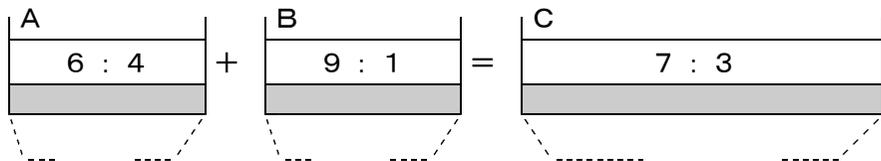
1 最初に, 求める量を x, y とおく。(例外はあるが,これが基本です。)

2 数量関係を図にまとめる。
 合計量として, 合金と銅が与えられているので,
銅の合計を求める等式と, 合金の合計を求める等式を作ります。

銅の合計 : ②



銅



合金



合金の合計 : ①

(次のページへつづく) →

□ □ 【連立方程式 No. 34s (1/2)】 - < 2枚目/2枚 >

↗ (前のページからのつづき)

[考える手順]

1 未知数を定める

2 方程式を立てる

3 方程式を解く

4 確かめ

5 答を書く

[答 案]

..... ①

..... ②

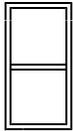
.....

よって, $(x, y) = (\quad , \quad)$ ・ 合金の量合金Aを kgと合金Bを kgとると合計
で kgになるので, 問題に合っている。・ 銅の量

合金AとBの中にふくまれる銅の合計量は,

.....
とかしあわせた合金の中にふくまれる銅の量は,.....
となり, 問題に合っている。

答 _____



連立方程式 2・連立方程式の応用

3 割合の問題 (その3)

【No. 34の後で学習☆発展問題】 (2/2)

◇ 《合金の問題(比)》 **学力化** →

◇発展演習◇【2】

銅とすずの合金がA, B 2種類ある。ふくまれている銅とすずの重さの割合は, Aは9 : 11, Bは3 : 1である。合金A, Bをとかしあわせて, 銅とすずの割合が13 : 7の合金を作るつもりであったが, まちがえて合金Bを2kg少なく混ぜてたため, 銅とすずの割合が3 : 2の合金ができてしまった。はじめに合金A, Bを何kg混ぜるつもりであったか。

【考え方】

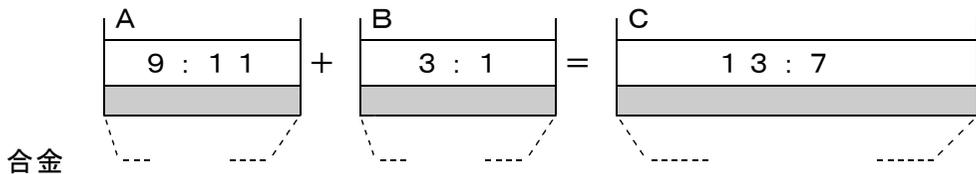
1 最初に, 求める量を x, y とおく。(例外はあるが,これが基本です。)

2 数量関係を図にまとめる。
 合計量として, 銅の量が2通り与えられているので,
銅の合計を求める等式を2通り作ります。

銅の合計 1 : ①



銅



(次のページへつづく) ↗

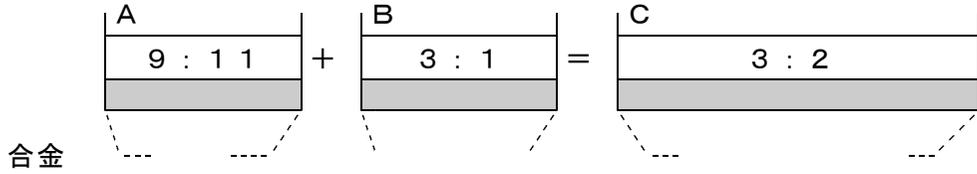
□ □ 【連立方程式 No. 34s (2/2)】 - 〈2枚目/3枚〉

➔ (前のページからのつづき)

銅の合計 2 :②



銅



[考える手順]

1 未知数を定める

2 方程式を立てる

3 方程式を解く

[答 案]

.....①

.....②

(次のページへつづく) ➔

□ □ 【連立方程式 No. 34s (2/2)】 - 〈3枚目/3枚〉

↗ (前のページからのつづき)

よって, $(x, y) = (\quad , \quad)$

4 確かめ

(省略)

5 答を書く

答 _____